

(広 21)
平成 30 年 9 月 25 日

都道府県医師会
広報担当理事 殿

日本医師会常任理事
城守 国斗

風しんワクチンの接種を呼び掛けるポスターのご活用をお願い

常日頃は日医の広報活動にご協力頂きありがとうございます。

昨今、関東地方を中心に風しんの感染が拡大しています。日医では、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催時に風しんの大流行が起きることを懸念し、このたび、風しんワクチンの接種を呼び掛けるポスターを作成いたしました。

ポスターデータは、日医ホームページの「プレスリリース」(9月19日付「風しんワクチン接種を呼び掛けるポスターの作成について」<http://www.med.or.jp/nichiionline/article/008162.html>)にPDFデータを掲載し、ダウンロードが可能となっておりますが、ご参考までにポスターを別紙に添付いたします。

日医では、多くの先生方に待合室などに掲示するなど、ご活用いただきたいと考えております。

ぜひ、先生方にもご活用いただくとともに、会員の先生方へのご周知にご協力をお願い申し上げます。

風しんのワクチン接種を 受けましょう！

風しんは感染する病気です

あなただけでなく、大切な人を守るために

風しんウイルス

提供元「国立感染症研究所」

感染します

風しんは、患者のせき・くしゃみ・会話などによって空気中に飛び散った病原体を吸入することにより、ヒトからヒトへ感染する病気です。

こんな症状

感染から2~3週間で発症し、症状としては発熱、全身の発疹、リンパ節の腫れなどが見られます。成人が発症すると小児より重症化することがありますので、症状が疑われる場合には、早めにかかりつけ医に相談してください。

妊婦さんは要注意

妊娠20週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染してしまうと、胎児に影響を与え、出生児にさまざまな障がいを引き起こす可能性があります。しかし、妊娠中はワクチン接種を受けることができませんので、周りの人が気をつけてあげましょう。

風しんは、ワクチンを接種することで防ぐことができる病気です。今、日本では30~50歳代の男性の約2割が風しんに対する免疫をもっていないと言われています。

これらの方を含めて、これまでにワクチン接種を受けていない方は、家族や職場の方につささないようにするためにも、早めに接種を受けましょう。接種を希望される方は、お気軽にご相談ください。

院長

日本医師会ホームページ内コンテンツ

健康の森「風しん」

<http://www.med.or.jp/forest/check/fushin/01.html>



日本医師会
Japan Medical Association